

一般財団法人京都ボーイスカウト振興会
平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日）
事業計画

1. はじめに

昨年、日本ボーイスカウト京都連盟（以下「京都連盟」という）は、初めてアフリカヘローバースカウトを派遣しました。訪問先はガーナ共和国で、顧みられない熱帯病と呼ばれる「ブルーリ潰瘍」などの病気に苦しむ現地の状況を視察し、京都のスカウトとして何ができるか、について提案するために実施されました。

海外初渡航の4人の参加者は、京都・同志社・立命館の大学ローバーで活躍しているスカウトのトップランナーであり、これから社会に巣立つ若者として期待されています。

仲間どうしの友情と日々の善行から一步踏み出して、社会の課題にスカウトが貢献することは、この運動が「国際的な広がりのあるグローバルな地域の教育力」を発揮するに相応しいテーマです。

このような新しい小さな芽を育てることに軸をすえ、京都連盟の組織力を固め、社会の認知度を上げて加盟員増加への転機となるよう、必要な支援を進めたいと存じます。

こうして京都の町づくり・人づくりに貢献することによって、本会維持会員の皆様のご篤志にお応えできるものと信じております。

次のそれぞれの事業ごとに計画を策定し実行してまいります。

- (1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業
- (2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業
- (3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業
- (4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のため
共催事業
- (5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業

2. 事業計画の内容

- (1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業

(ア) 助成の対象

京都府下において、ボーイスカウト運動の趣旨を理解し、組織的にボーイスカウト運動を行う団体

(イ) 助成の趣旨・用途

ボーイスカウト運動にかかる講習・実修・研修・キャンプに要する経費、スカウト派遣に要する経費、その他ボーイスカウト運動に欠くことができない重要な行事のために必要となる経費

(ウ) 事業予算

事業費として、2,300千円を見込む。当該事業費のうち、1,000千円は第17回日本スカウトジャンボリー派遣の助成である。残額1,300千円は、日本ボーイスカウト京都連盟（以下、「京都連盟」という。）の30年度事業費予算のうち、進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッショナー費、イベント費等に必要となる事業費に対して助成する予定である。

(イ) 助成対象者からの助成申請及び実績報告

助成対象者からは書面による助成申請（事業の収支予算及び事業の実施概要）を受け、書面による実績結果（事業の収支決算及び事業の実施状況）を受ける。なお、助成申請及び実績報告は、助成対象者の組織的な機関決定を経たものであることを条件とする。

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業

(ア) 体験活動の所在地

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町 27 番地

（当法人所有：山林 22,559 平方メートル、原野 521 平方メートル）

(イ) 体験活動の運営主体

日本ボーイスカウト京都連盟

(ロ) 体験活動に参加が予定されている対象者

青少年の育成を目的とした組織団体に無償提供する。

(イ) 広河原野営場は、京都北山の自然を堪能できる拠点として、またボーイスカウトが目指すハイアドベンチャーの基地として、活用の方法を紹介し、利用者増を目指す。

(3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業：「連携」

(ア) 趣旨

ローバースカウト、および同年代の若い指導者らが、自らのスカウト活動に自信と誇りをもち社会の一員として期待されるよう、積極的に外部団体との連携を進め、新たな人材の確保と、優秀な人材を社会に送り出す、双方向で成果を出したい。

(イ) 連携の方法

①NPO 法人グローバル人材開発センター：ミライスカウトプロジェクトに引き続き連携を強め、大学生がスカウト運動に参画できる道筋をつくる。

②他団体が開催する行事で、未来を担う青少年育成に関する勉強会等へボーイスカウト加盟員の参加促進を行う。

③企業に人材が送り出せるよう、連携の方法を調査・研究する。

(ロ) 予算

事業費として、300千円を見込む。

(4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業：「イベント」

ボーイスカウトが主催する様々な行事が、参加者も主催者もワクワクする魅力ある活動であるか、またスカウト教育が目指す方向で成果があるかについて、外部の視点で評価し、支援の意義を高めていく。

(7) 国際交流・国際貢献活動支援

ボーイスカウトを対象に海外キャンプへの派遣、海外スカウトのホームステイ受入、国際協力プロジェクトの派遣実施等を予定している。

(1) 社会に役立つ事業活動支援

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会、全国車いす駅伝競走大会、視覚障害者マラソン 京都大会の沿道整理奉仕

多くの地道な奉仕活動により大会を支えている事実を、マスコミ報道を通じてクローズアップさせる。

(9) 環境まち美化活動支援

「みどりの募金」活動、京都市「まち美化運動」に参加

(5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業：「広報」

ホームページのアクセス数が増えるよう、積極的に更新を図る。

(7) ホームページの充実により、組織内外のコミュニケーションを促進する。

①一般の子どもや保護者が参加可能な団主催「スカウト体験と説明会」や地区主催「ピーパーランド」「カブラリー」等、スカウトの日（全国一斉に清掃などの奉仕活動を実施する）等について、ホームページにて告知し、地域の青少年の参加を促す。

②ボーイスカウト・指導者等のボーイスカウト関係者、維持会員、ならびに不特定多数の方々に対して、ホームページを通じて、当法人の事業計画等・京都連盟の事業計画等を適時に適切な範囲でディスクローズし、健全な運営を行う。

③ボーイスカウト運動の振興を図るために維持会員、および潜在的な維持会員に対して、ホームページを通じて、会費の協力を依頼する。

④OBの復帰受け皿としての「サポーター制度」を確立し、ホームページやSNSを通じて公募する。

(1) 事業予算

事業費として、590千円（普及宣伝費200千円、ホームページ運営改革費390千円を見込む。）

以 上